

警察署協議会議事録

協議会名	令和7年第1回宮城県角田警察署協議会
開催日時	令和7年2月27日（木）午後3時00分から 午後3時45分まで
開催場所	宮城県角田警察署3階会議室
出席者等	1 協議会委員 佐久間功会長、山懸みや子副会長、舩山光子委員、谷津清治委員、 山川重一委員 2 警察署側 署長、次長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

議事概要	<p>第1 報告事項</p> <p>1 角田警察署の取組について（署長）          令和6年12月以降の角田警察署の取組について報告した。</p> <p>(1) 年末・年始特別警戒取締り出動式について          令和6年12月15日から令和7年1月7日まで金融機関、コンビニエンスストア等を対象として各種犯罪防止のほか、交通事故等の未然防止を図るためパトロール活動を強化した。</p> <p>(2) 110番の日キャンペーンの実施について          1月10日、110番の日のキャンペーンとして阿武隈急行線角田駅において、正しい110番通報の方法についてキャンペーンを行った。          また、同駅構内で事故が発生したことを想定し、阿武隈急行線職員とともに訓練を実施した。</p> <p>(3) 交通安全祈願祭について          1月10日、令和7年中の交通死亡事故防止のため、交通安全祈願祭を実施した。</p> <p>(4) 防犯講話について          1月22日、管内の自治センターで、特殊詐欺被害防止や交通事故防止等に関する防犯講話を実施した。</p> <p>(5) 感謝状贈呈式の開催について          1月22日、令和6年中に警察署の活動に協力いただいた団体、個人に対し感謝状を贈呈した。</p> <p>2 管内の治安情勢について</p> <p>(1) 管内の犯罪発生状況について（刑事課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年12月末現在の刑法犯認知件数は、総数174件であり、前年比14件減少した。</li> <li>○ 刑法犯認知件数の地域別の発生割合は、おおむね8割が角田市、2割が丸森町であった。</li> <li>○ 窃盗犯のうち、侵入盗は20件、乗り物盗が19件、万引き等の非侵入盗が83件発生した。</li> <li>○ 令和6年12月末現在の特殊詐欺発生件数は、7件であった。</li> </ul> <p>(2) 管内の交通事故発生状況について（交通課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年12月末現在の交通事故発生状況は、             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・交通事故発生総数</td> <td>882件</td> <td>(前年比+74件)</td> </tr> <tr> <td>・死亡事故</td> <td>3件3人</td> <td>(前年比+3件+3人)</td> </tr> <tr> <td>・人身事故</td> <td>69件</td> <td>(前年比+8件)</td> </tr> <tr> <td>・物件事故</td> <td>813件</td> <td>(前年比+66件)</td> </tr> </table>             となっている。           </li> <li>○ 事故原因は、前方不注意22件、安全不確認12件、動静不注視5件で全体の56.5%を占め、漫然運転が事故の要因となっている。</li> </ul>	・交通事故発生総数	882件	(前年比+74件)	・死亡事故	3件3人	(前年比+3件+3人)	・人身事故	69件	(前年比+8件)	・物件事故	813件	(前年比+66件)
・交通事故発生総数	882件	(前年比+74件)											
・死亡事故	3件3人	(前年比+3件+3人)											
・人身事故	69件	(前年比+8件)											
・物件事故	813件	(前年比+66件)											

(3) 管内の少年非行の概況について（生活安全課長）

- 令和6年12月末現在の少年の検挙・補導総数は89人で、前年比15人増加した。
- 令和6年12月末現在の不良行為少年の補導は78人で、前年比17人増加した。

3 令和7年上半期の速度取締り指針について（交通課長）

(1) 速度取締り路線

ア 区域・路線

- 角田地区（江尻地区、坂津田地区）  
国道349号、県道亘理大河原川崎線
- 角田地区（藤田地区、佐倉地区）  
県道丸森柴田線、角田市道
- 丸森地区（大内地区、小斎地区）  
国道113号、県道丸森柴田線

イ 時間帯

- 午前7時から午前9時までの間
- 午後4時から午後6時までの間

(2) 指針の趣旨等の説明

ア 指針について

この指針は、交通事故の抑止、被害軽減対策を効果的に推進するため、管内の交通事故実態の分析結果や住民の皆様の意見等を踏まえ、重点的に速度取締りを行う地域、時間帯、路線等について方針を策定し、その内容を説明、公表するものである。

指針は、宮城県警察のホームページで公表している。

イ 当署管内における交通事故発生実態等について

- 過去3年間の人身事故は、計181件である。
- 過去3年間の時間帯別人身事故発生は、朝7時台、朝8時台、17時台の3つの時間帯で全体の約42%を占めている。
- 過去3年間の事故原因は、いわゆる漫然運転と言われる、安全不確認、前方不注意、動静不注視が全体の約70%を占めている。
- 路線別では、交通量の多い国道での人身交通事故の発生が多く、次いで角田市道、丸森町道、県道となっている。
- 角田地区の発生は、区域全体の約92%を占めていることから、同地区及び近隣地域や路線での継続的な取締りが効果的と認められる。

ウ 分析結果

当署管内の交通事故発生状況等から、令和7年上半期の速度取締り重点は、前記(1)速度取締り路線とする。

また、「速度違反以外の取締りや警戒活動」は、

- ・ ドライバーに緊張感を持たせるため、パトカーによる主要交差点等におけるレッド警戒を強化
- ・ 通学路等の安全確保のため、登下校時間帯を中心とした取締りを強化

- ・ 通勤・通学時間帯、帰宅時間帯の交通量の多い時間帯における交差点関連違反の取締りを強化とする。

## 第2 協議事項

### 1 提言・意見・要望等について

#### ○ 委員

角田市小田、鹿島地内の交差点の段差解消について  
当該地点は県道と市道が交差しているが、橋の兩岸に段差があり、かつ県道に凹み部分があるため、通過する車にとって危険なため、段差解消は可能か。

#### ● 交通課長

現場確認を実施したところ、小田橋南北に段差や凹みがある状況を確認した。

道路管理者に対して、現場確認と道路の補修を依頼した。

#### ○ 委員

角田小学校周辺の道路標示で「止まれ」の表示が無いものや、消えかかっていた箇所があったので、見直しをお願いしたい。

#### ● 交通課長

現場確認を実施したところ、「止まれ」の路面標示がない場所と消えかけている場所が混在している状況を確認した。

道路管理者に対して、現場確認と路面標示の補修を依頼した。

#### ○ 委員

角田市岡地内の市道で西進した際、見通しの悪い交差点があり、見直しや改善は可能か。

#### ● 交通課長

現場確認を実施したところ、角田市方面から白石市方面へ通行した際、十字路交差点に差しかかると、停止線の位置から左側の見通しが若干悪い状況を確認した。

しかしながら、同交差点は停止線通過後にドットラインと交差点内のカラー舗装が施工されており、ドットラインの手前だと左側の見通しが確保されている状況であった。

停止線で一時停止後、再度ドットラインの手前で停止して、交差点左右の安全確認をしていただきたい。

また、同交差点付近の草木が夏場などに生い茂り、見通しが悪くなった場合には、管理者に対して剪定作業の依頼を実施する。

#### ○ 委員

角田バイパス沿いにあるガソリンスタンドで、店舗北西方から西方面の道路に出る際、北側を確認するミラー等が無く、見づらいため、改善は可能か。

#### ● 交通課長

現場確認を実施したところ、同店舗北側出入口から道路へ進出する際、見通しが悪い状況を確認した。

店舗に対して、カーブミラー設置や「一時停止」等の注意喚起の検討を依頼した。

- 委員  
金津小学校の東側にある内町湖方面途中の交差点が見通しが悪く、一時停止標識や停止線表示等の検討は可能か。
- 交通課長  
現場確認を実施したところ、同交差点付近の外側線が消えている状況を確認した。  
道路管理者と現場点検を実施し、外側線の補修と新たにドットラインの路面標示と交差点中央部の「十字マーク」を道路管理者により施工予定である。
- 委員  
今年になってからも交通事故が発生していると思うが、交通指導取締りなど交通事故抑止に効果のある取締りはどの様にしているか。
- 交通課長  
速度取締り指針で説明したとおり、管内の交通事故実態の分析結果や地域住民の要望等を踏まえ、重点的に取締りを行う地域、時間帯、路線等の取締方針を策定して交通事故の抑止を目的とした交通指導取締りを実施していく。
- 委員  
丸森町体育館の直近の十字路交差点で、暗い場所があるため、事故に繋がる可能性があり、対策をお願いしたい。
- 交通課長  
現場確認を実施したところ、街灯が少なく、外側線が消えかけていて、交差点の視認性が悪い状況を確認した。  
道路管理者と現場点検を実施し、外側線や中央線の補修に加え、破損していたデリネーターの更新を道路管理者にしてもらう予定である。
- 委員  
1月初旬、角田市高倉地内の国道113号がアイスバーン状態になり、約2時間半、交通が麻痺した。  
道路管理者や除雪委託業者はこまめに道路のパトロールをして欲しい。
- 交通課長  
警察では、天気予報等で積雪が予想される場合には、先行的に道路管理者に対して、早めの融雪剤散布や除雪の依頼を実施している。  
提言場所の路面凍結状況を道路管理者に伝え、降雪時の先行的かつ迅速な対応について、道路管理者に依頼した。
- 委員  
中山間地域へのパトカー等によるパトロールの実施について以前にも中山間地域のパトロールの強化を要望したが、最近、窃盗等の闇バイトを操る組織犯罪が地方を中心に多く発生し、金品の窃盗だけでなく、生命を脅かす事案まで発生している。  
今まで、家の鍵を掛けずに長時間留守にしたり、鍵をかけ忘れ

て就寝したりしても安全というような田舎の安全神話は崩れつつある。

このようなことから、各種犯罪の抑止と住民の安全安心のため、駐在所所長によるパトロールの他に、警察署及び交番のパトカーによる巡回をより一層増やしていただきたい。

● 地域課長

管内のパトロールについては、管轄駐在所のほか、丸森交番、警察署当直員も昼夜実施しており、特に中山間部のパトロールを強化して欲しいという要望があったことは勤務員に情報共有をしている。

引き続きパトロールを実施して、地域住民の安全安心の確保に努めていく。

2 その他

次回の警察署協議会は、6月下旬の開催を予定している。